



2. 3月のアーティスト・イン・レジデンス プログラム ～城崎・豊岡の魅力を生かして創作～

2月と3月初めに城崎国際アートセンターで予定されている、アーティスト・イン・レジデンスプログラムをお知らせする。

1 木村玲奈^{れいな} 滞在制作

(1) 地域還元プログラム

ア 木村玲奈 城崎滞在 成果発表会

(7) 日時

第1回	平成27年2月21日(土)	午後2時～
第2回	2月21日(土)	午後5時～
第3回	2月22日(日)	午後2時～
第4回	2月25日(水)	午後1時～
第5回	2月25日(水)	午後7時30分～

(イ) 場所

城崎国際アートセンター

(ウ) 内容

- 城崎滞在を経てブラッシュアップした、木村玲奈さん振付のダンス作品「どこかで生まれて、どこかで暮らす。」の成果発表会。
- 上演時間を昼と夜に設定し、光、天候、場所などの環境による違いを楽しむ(上演内容は同じ)。

(エ) 参加費

無料

(オ) 申込み

不要

【参考】

- 滞在期間は、平成27年1月5日(月)～2月28日(土)。滞在制作の詳細は、1月の市長定例記者会見で発表済み
- 地域還元プログラムのオープンスタジオ(稽古を公開。見学者も参加できるプログラム設定)は、1月21日と28日に実施済み

2 ^{サンズ ウォー} sons wo : (カゲヤマ气象台の作品を発表する個人ユニット)滞在制作

(1) 滞在期間

平成27年2月16日(月)～3月2日(月)

(2) 内容・特色

ア インタビューやワークショップなどで、『劇的』な言葉を書いてみる」取組みを



通して、城崎・豊岡の市民から言葉を集める。

イ 集めた言葉を基に2人の俳優と短いパフォーマンスを作りあげる。

ウ 城崎・豊岡での人々の生活や活動、個性を凝縮した作品を作り、演劇と人々が生きることを一つにしたものを上演できるように試みる。

(3) 地域還元プログラム

ア 試演会

(7) 日時

平成27年3月1日(日)午後2時～(後述の^{ドラカン}dracomの作品と二本立て上演)

(4) 場所

城崎国際アートセンター

(5) 内容

『『劇的』な言葉を書いてみる』取組みで、豊岡市民から集めた言葉を「私たちが生きるということを言葉にしたもの」と捉え、「劇的」な言葉が人に訴えかけ、人を動かす様子を約20分の作品にして上演する。

(1) 参加費

無料

(2) 申込み

電話またはメールで、城崎国際アートセンター(TEL0796-32-3888、e-mail info@kiac.jp ※受付9:00～17:00 火曜休館)へ2月28日(土)までに、①代表者の氏名 ②人数 ③連絡先を伝えて申し込む。

3 ^{ドラカン}dracom(リーダー:^{つついじゅん}筒井潤)滞在制作

(1) 滞在期間

平成27年2月18日(水)～3月2日(月)

(2) 内容・特色

2013年に大阪府・北加賀屋の工場地帯で初演した、自作『^{ほうぼうのてい}方々ノ態』

(主人公は逃げている人。収容人数が約15人のキャンプ用ドーム型テントの中で創作・上演。周辺環境を借景しながら取り入れたファンタジックな作品)を、城崎のユニークな環境をリサーチして、城崎バージョン版を滞在制作する。

(3) 地域還元プログラム

ア 試演会

(7) 日時

平成27年3月1日(日)午後2時～(前述の sons wo: の作品と二本立て上演)



(イ) 場 所

城崎国際アートセンター エントランスホール (予定)

(ウ) 内 容

『方々の態』城崎バージョンをキャンプ用ドーム型テントで上演する。
※ テントは、内部が透けて見える透明な素材でできており、来館者は試演会までの日々の稽古もインスタレーション (特定空間にオブジェなどを置いて、作家の意向に沿って空間を構成し、空間全体を作品として体験させる芸術) 感覚で楽しむことができる。

(エ) 参加費

無料

(オ) 申込み

電話またはメールで、城崎国際アートセンター (TEL0796-32-3888、e-mail info@kiac.jp ※受付 9:00~17:00 火曜休館) へ2月28日 (土) までに、①代表者の氏名 ②人数 ③連絡先を伝えて申し込む。

4 ジョリス・ラコストの滞在制作と

ジュヌヴィリエ国立演劇センター・こまばアゴラ劇場 国際共同事業

ジュヌ セン

June Scene若手演出家交流事業「ジョリス・ラコスト『話し言葉の百科全書』をめぐって」公演

(1) 滞在期間

平成27年3月15日 (日) ~ 3月28日 (土)

(2) 内容・特色

- ア** フランスの劇作家・演出家のジョリス・ラコストが、2015年の新作『Suite no. 2』(スイート・ニューメロ・ドゥ) を城崎国際アートセンターで滞在制作する。
- イ** この作品は、クンステンフェスティバル (ブリュッセル、ベルギー) での世界初演 (2015年5月)、アジア・アーツ・シアター (光州、韓国) でのアジア初演 (2015年9月) ほか各国での上演を予定している。

(3) 地域還元プログラム

ア 試演会

(ア) 日時

平成27年3月21日 (土・祝)、22日 (日) 両日共、午後2時~4時

(イ) 場所

城崎国際アートセンター スタジオ1

(ウ) 内容

ジュヌヴィリエ国立演劇センター・こまばアゴラ劇場 国際共同事業
Jeune Scene (ジュヌ・セン) 若手演出家交流事業
「ジョリス・ラコスト『話し言葉の百科全書』をめぐって」公演



- a プロジェクト「話し言葉の百科全書」を紹介
- b 観客参加型の体験ワークショップ
- c ジョリスの友人、平田オリザを交えたトークショー

《参考》

- プロジェクト「話し言葉の百科全書」は
- ・スピーチや話し言葉の多様な形式について、横断的な方法でアプローチするため、ジョリス・ラコストが2007年に開始したプロジェクト。
 - ・詩人、俳優、造形美術家、民族誌学者、音楽家、キュレーター、演出家、ドラマトゥルク、振付家、ラジオ演出家などが参加している。
 - ・あらゆる録音資料を収集し、リズムやハーモニー、圧縮、誇張、間隔、旋律、反復、残余、飽和、音色などの特徴に応じて、話し言葉を分類し「百科全書」を構成。
 - ・百科全書の録音資料を使用し、サウンド作品、ダンス・演劇、パフォーマンス、講演会、インスタレーション、ゲームなどを制作し、公開・上演を行っている。

(I) 参加費

2,000 円

(II) 申込み

a 受付開始

2月21日（土）

b 申込み方法

電話またはメールで下記に申し込む。

[電話] 城崎国際アートセンター TEL0796-32-3888 (受付 9:00~17:00 火曜休館)

e-mail info@kiac.jp

[オンライン] 青年団ホームページ <http://www.seinendan.org>

〈プロフィール〉

1 木村^{れいな}玲奈

青森県出身。1986年渋谷玲子バレエスタジオにて踊り始める。青森県立美術館、国際芸術センター青森などでの活動に参加。2008年イギリスの振付家、ショーネッド・ヒューズと「Aomori Project」を開始以来、協働を継続。本企画を通じて国内各地をはじめ、イギリス、イタリア等で作品を発表。2012年にはNPO法人Danse Box主催「国内ダンス留学@神戸」の奨学生に選ばれ、神戸市・新長田に10カ月間滞在して創作活動を行う。トヨタ・コレオグラフィアワード2014ファイナリスト。

2 カゲヤマ气象台

1988年静岡県生まれ。早稲田大学第一文学部卒。2008年にsons wo: (サンズ・ウオー) を設立。主に脚本、演出、音響デザインを手がける。人間の中で働いている言葉や意識、イメージの活動を追求し、それをそのまま表出させて演劇とする。あくまでも独りで現象と対峙できる、「開かれた自己内省のための場」としての演劇空間を提唱している。芸創CONNECT Vol.6 最優秀賞受賞。F/T13 公募プログラム参加。



3 つつじゅん 筒井潤

dracom リーダー。主に作、演出、出演などを担当。演出家、劇作家、俳優。2007年に dracom の作品『もれうた』で京都芸術センター舞台芸術賞受賞。dracom での活動の他、『女3人集まるとこういふことになる』におけるダンサーへの演出や、DANCE BOX 主催『新長田のダンス事情』パフォーマンス、桃園会の演出も手掛けたことがある。現在、高槻シニア劇団そよ風ペダルの講師を務める。また、山下残振付作品やマレビトの会、KIKIKIKIKIKI、維新派、作：松田正隆・演出：松本雄吉『石のような水』などに出演。2014年よりセゾン文化財団セゾン・フェロー。

4 ジョリス・ラコスト (Joris Lacoste)

1973年生まれ。パリで活動。2004年から「プロジェクトW」、2007年から「話し言葉の百科全書」という、2つのコレクティブ・プロジェクト（集団プロジェクト）を始める。「話し言葉の百科全書」は、2009年にソロ作品『議会』として上演されたほか、2014年に初演された演劇『Suite no1』（スイーツ・ニュメロ・アン）が高く評価されている。同作品のワークショップバージョン『コラルール』は2014年に日本バージョンが、青年団国際交流プロジェクトとして制作・上演された（春風舎及びTPAM、神奈川芸術劇場エントランスホール等）。

新作『Suite no2』（スイーツ・ニュメロ・ドウ）は、クンステンフェスティバル（ブリュッセル、ベルギー）での世界初演（2015年5月）、アジアン・アーツ・シアター（光州、韓国）でのアジア初演（2015年9月）をはじめ、フランス国内外で多数の上演が予定されている。

2009年には「睡眠言語」プロジェクトを始め、睡眠の芸術的な利用を探究し、ラジオドラマ、パフォーマンス、演劇上演、展示など多様な形態での発表を行っている。

〔問合せ〕 豊岡市地域コミュニティ振興部生涯学習課 TEL 0796-23-0341
事業内容については
城崎国際アートセンター TEL0796-32-3888